

## 合格体験記

名前: T.W(男性) 通信講座受講

私は2次試験6回目での合格でした。5回の不合格と、6回目の合格で大きな差異は以下です。

- 欲張らず、MMCのノウハウ習得のみ絞ったこと。

MMCの通信講座を受講したきっかけは、昨年MMCの第4回目の模擬試験後のアドバイス答案でした。昨年のMMC第4回目模試試験後のアドバイス答案を受けた際、中居先生にアドバイスを受けました。その当時はMMC受講生ではありませんでしたが、非常に親身になって、貴重なアドバイスをいただき、もし5回目の受験が失敗した場合は、来年度受講する場合はMMCにお世話になりたいとその当時思ったことが大きかったです。

昨年度の5回目の受験も結果はうまくいかず、今年6回目は、背水の陣で臨もうと考えておりましたが、日頃の仕事と子どもが小さいこともあり家庭生活の両立から、結局、1次試験終了までは家族への負担軽減を優先し、独学で勉強を継続し、1次試験終了後の7月からMMCのSTEP5の通信講座に参加しました。

7月から10月の短期間ではありましたが、MMCから配布された事例問題、MMCから配布された財務会計の応用計算問題集を確実に行き、各事例の「切り口・キーワードの整理」の表を頭に叩き込み、先生方から頂いたご指摘を自ら再現できるレベルまでひたすら、繰り返しをおこなうことのみ注力しました。事例の解説動画も非常に分かりやすく役立ちました。繰り返し何度も見直しました。

毎朝30分から1時間、MMCの計算問題を最低1問解き、夜は事例問題を1事例、忙しいときは事例内の問をいくつか解くことを実施しました。また、各事例の「切り口・キーワードの整理」表を無意識で答えられるレベルまで繰り返しました。仕事との両立から平日は2時間程度、休日は4時間程度の勉強時間を確保できればよい状況でした。模試もMMCの9月模試のみの受験しか行えず、過去問も1年間のみを1回転実施したのみでした。

10月下旬の本番は、MMCの事例を通して先生方にご指摘頂いた点、各事例の「切り口・キーワードの整理」表から学んだことなどを、素直に解答用紙に表現することのみを心がけました。そして事例4ではとれる問題を確実にとり、欲張らないことを意識しました。

今、思うと限られた時間の中で、このシンプルな割り切りが良かったのかなと思います。

昨年までは、○ぞろいの教材や過去問もしっかりこなさなければと、1次試験のように、こなす勉強ばかりに注力し過ぎていたように思います。広く浅い対応を行っていたように思います。

この試験は、正しい考え方を身につけることが重要と痛感しました。目的を持たず量をこなす勉強を行うのであれば、思い切って少ない事例でも構わないと思います。抑えるべき考え方、ポイントを自分の中で腑に落ちるレベルにまでこだわって繰り返すことが、合格レベルに到達できる近道ではないかと思います。抑えるべき考え方という観点では、MMC の考え方はシンプルに整理されており、非常に理解しやすく使いやすいと思います。

講義の中でも徳川先生がよく述べられていた、「MMC の切り口・キーワードの整理」表をベースに欲張らず素直に解答する。それだけで本当に合格が近づくのだなと身をもって感じました。欲張っていろいろなものに手を出さず、MMC で与えられたものだけを信じて、それを腑に落ちるレベルまで身につけることに注力することです。

合格まで心が折れることも多々ありました。家族にも沢山迷惑かけました。あまりお勧めはしませんが、人間的にもタフになれたと思います。終わりよければすべてよし、貴重な経験を積むことができた時間だったと思います。

通信受講で直接のお話はあまりできませんでしたが、中居先生、徳川先生はじめ MMC の先生方々には大変お世話になりました。感謝申し上げます。簡単ですが、私の合格体験記とさせていただきます。来年度の受験生のお役に立てていただければ幸いです。ありがとうございました。